

《診療の質》在宅復帰率

[項目解説]

在宅復帰率とは、当院を退院された方で「在宅」に移られた方の割合の事をいいます。ここでの「在宅」とは「自宅、居住系介護施設等、介護老人保健施設、有床診療所」等があげられます。

[当院の実績]

・年度(基準年4月1日～翌年3月31日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
在宅復帰率	-	95.6%	96.1%	95.9%	94.4%

※データの都合上、平成26年度より掲載

[算式]

$$\text{在宅復帰率} = \frac{\text{以下の退院先の患者数}}{\text{一般病床の退院患者数}}$$

以下の退院先の患者数

- ・在宅（自宅及び居住系介護施設）
- ・介護老人保健施設
- ・有床診療所
- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・療養病棟

[当院の自己点検評価]

今日、国から医療・介護システムの強化が進められており、当院での在宅復帰率は直近4年間の平均が95%と高水準を保っております。引き続きこの復帰率を保てるように医療提供を続けていきます。

[定義]

在宅復帰率